

経営比較分析表（令和4年度決算）

鳥取県 南部町

業務名	業種・事業名	管理者の情報	自己資本構成比率（％）
法非適用	電気事業	非設置	該当数値なし
水力発電所数	ごみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数
-	-	-	1
その他発電所数	料金契約終了年月日	F I T・F I P 適用終了年月日	電力小売事業実施の有無
-	令和10年4月30日 南部町大規模太陽光発電施設	令和10年4月30日 南部町大規模太陽光発電施設	無
売電先	地産地消の見える化率（％）※1		
中国電力(株)	-		

※1 行政区域内の需要家に小売されたことが客観的に明らかであるものを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーへの取り組みを評価するものではない。

年間発電電力量（MWh）	H30	R01	R02	R03	R04
水力発電	-	-	-	-	-
ごみ発電	-	-	-	-	-
風力発電	-	-	-	-	-
太陽光発電	1,682	1,684	1,799	1,456	1,780
合計	1,682	1,684	1,799	1,456	1,780

	F I T・F I P 以外	F I T・F I P	合計
年間電灯電力量収入（千円）	-	71,186	71,186

剰余金の使途について（具体的な使用実績事業を記入してください）
基金への積立の有無…有 25,650千円 目的：町内の再生可能エネルギーの活用、普及の推進及び発電所の維持管理に必要な経費等に充当する
一般会計への繰出しの有無…有 14,800千円 目的：南部町家庭用発電等導入促進事業への新エネルギー機器設置の普及促進のための費用に充当する
その他の有無…無

分析欄

1. 経営の状況について
発電量においては、令和4年度にはカラス等野鳥の投石等が原因と考えられるモジュールの破損被害により、平常時と比べて収益がやや落ち込んだ時期があった。しかし、落雷による設備の大きな破損があった令和3年度と比較して、収益が増加する結果となった。町民債の償還が終了しているため、予定されている次の大きな出費は設備の更新である。
事業の開始から9年目を迎え、設備の老朽化を考えなければならない、設備について大規模な検査、更新が今後の課題となっている。

①収益的収支比率について
全国の施設の平均値135%に対して、当施設は148.6%の値である。令和4年度はモジュール破損により収益がやや減少した時期があったが、目標値を上回ることができた。また、歳出面において、町の防犯灯LED化事業への提出をしているが収支比率について100%を下回ることが無く、大きな影響は無いもの。
更新以外に大きな出費が無いため、引き続き、環境問題に関わる事業へ積極的かつ計画的な繰出しを行う予定である。

②営業収支比率について
令和4年度において、大きな修繕等が無く、人件費等の恒常的な支出のみであったため、951.7%と良好な値となった。
今後の設備の更新や環境問題に関わる事業への提出により、若干だが収支が減少することを想定している。

④供給原価について
繰入金等の増加により総費用が増加したため、今年度は全国平均を少し上回ったが、安定した供給原価で売電できている。

⑤EBITDAIについて
太陽光発電事業は、設備を整え収益を得るシンプルな構造である。
設備の経年劣化により微小に減少していく以外、今後も大きな出費が無ければ安定した直線が続いていくことを見込んでいる。

2. 経営のリスクについて

今年度の値も全国平均と比較しても安定して推移している。
今後は更新を見据えた設備の管理計画を進める。

①設備利用率
資源エネルギー庁のH27のワーキンググループの報告で設定されている太陽光設備の設備利用率の水準では14%が平均値となっている。一方、当施設では13%以上を確保している。そのうえで、事業開始から9年経過しているが、経年劣化もまだ見られず、安定した発電量を保っている。他収益等も見ても十分な発電量であり、特に施設の改善改修は考えていない。

②修繕費比率
令和4年度においては大きな修繕等が無く、修繕費比率が問題なく推移している。
今後の経年劣化していくことについては、慎重に推移を見守りたい。

③企業債残高対料金収入比率
町民債の償還も終わり、収支的に安定し、順調に償還出来ている。

⑤F I T 収入割合
当該施設は、売電先が1社であるためF I T 適用100%の施設である。
令和3年度より中国電力1社になり、結果として1社に集中することによるリスクはあるが、他に代替えも無いために、やむを得ない。但し、F I T 終了時の方針については継続して検討していく。

全体総括

令和4年度については、安定した経営が出来ていた。
事業開始から9年が過ぎ、本格的に施設の更新などについて検討が必要になるので、老朽化等対策について十分な調査と、計画の検討を行う。

1. 経営の状況

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	40.0	179.9	176.3	115.5	148.6
■平均値	123.2	134.7	141.8	138.2	135.0

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	655.9	779.0	760.4	397.8	951.7
■平均値	240.1	253.6	238.0	227.5	238.5

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	-	-	-	-	-
■平均値	-	-	-	-	-

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	109,057.1	24,338.5	25,097.8	38,082.4	29,603.9
■平均値	19,863.5	19,066.3	18,998.7	17,544.5	19,886.6

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	20,614	62,429	64,099	38,283	55,280
■平均値	34,140	33,434	36,820	35,532	36,111

2. 経営のリスク

●施設全体

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	12.8	12.8	13.7	11.1	13.5
■平均値	32.6	31.3	31.8	31.6	30.4

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
■平均値	7.3	5.4	6.4	5.0	3.9

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	468.6	427.6	361.3	405.2	295.5
■平均値	160.4	175.4	166.4	201.7	192.3

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	-	-	-	-	-
■平均値	-	-	-	-	-

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	58.3	65.3	72.0	100.0	100.0
■平均値	83.4	82.5	83.2	87.9	82.3

●発電型式別

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	-	-	-	-	-
■平均値	-	-	-	-	-

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	-	-	-	-	-
■平均値	-	-	-	-	-

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	-	-	-	-	-
■平均値	-	-	-	-	-

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	-	-	-	-	-
■平均値	-	-	-	-	-

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	-	-	-	-	-
■平均値	-	-	-	-	-

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	-	-	-	-	-
■平均値	-	-	-	-	-

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	-	-	-	-	-
■平均値	-	-	-	-	-

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	-	-	-	-	-
■平均値	-	-	-	-	-

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	-	-	-	-	-
■平均値	-	-	-	-	-

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	-	-	-	-	-
■平均値	-	-	-	-	-

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	-	-	-	-	-
■平均値	-	-	-	-	-

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	-	-	-	-	-
■平均値	-	-	-	-	-

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	12.8	12.8	13.7	11.1	13.5
■平均値	15.3	14.9	14.9	14.3	13.8

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
■平均値	0.7	0.4	1.8	1.8	2.7

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	468.6	427.6	361.3	405.2	295.5
■平均値	151.7	138.1	125.8	119.4	113.0

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	-	-	-	-	-
■平均値	-	-	-	-	-

	H30	R01	R02	R03	R04
■当該値	58.3	65.3	72.0	100.0	100.0
■平均値	98.7	98.8	98.9	99.7	99.8

※ 平成30年度から令和4年度における各指標の全国平均値は、当時の団体数を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債残高対料金収入比率、FIT・FIP収入割合については、令和4年度の団体数を基に平均値を算出しています。